

非認知能力を伸ばし、学び続ける人へ 太子町 学びコンパス



学びの羅針盤
らしんばん

第1号 (小学6年生版)

1: 学びは自分から

学びは、自分で「これは面白そう！」と思うことを探す冒険なんだよ。例えば、外で見つけた虫について自分で調べてみる。本を読んだり、インターネットで調べることで、その虫のことが分かって、もっと知りたくなるんだ。

勉強は、「自分ごと」としてやってみることで、もっとワクワク・面白くなるよ。何か新しいことに興味を持ったら、自分から学んでみてね。きっと、たくさんの発見が待っているよ！そんな、本当は楽しい「学び」について、考えるヒントがたくさんある冊子として、学びコンパスを読んで、活用してね。

自分で知りたい面白い！と思った時が学びのスタート



2: 「好き・興味あること」「^お推し」からたくさん学ぶ



学校を卒業したら勉強はおしまい？授業や教科書で習う勉強は終わるけど、学びは終わらない。

「自分の好きなこと・興味あること」・「^お推しのこと」なら誰にも負けないことってあるよね？「好き」「興味ある」を味方にとするとたくさんのことを楽しく学べるよ。

そして、学校では幅広いことと出会って「好き・興味あること」「推し」を見つける機会がたくさんあるよ！

3: 好きから学びへ！（やってみよう）

「自分の好きなこと・興味あること・推し」のどこが好きなんだろう？

例えば、サッカーが好きだとすると、サッカーのどこが好きなのかな？好きな理由を動詞で考えてみるとより深く、自分の好きなことが分かってくる。例えば「サッカーを観戦する、作戦を立てる、仲間と協力する、ボールをける」などなど。そうすると、自分の好きなことが具体的になって、さらに深く調べたり、知ったりするとそれは「学び」だよ。下の表を使って自分の好きなことを具体化してみよう。

やり方

- ①下の表の中心に好きなことを書く（名詞で 例：野球）
②好きなことの「どこが好きなのか」好きな理由を①～③に書けるところまで書く（動詞で 例：①野球を見る・②バットで打つ・③作戦を立てる…）。



①	②	③
④	好きなこと	⑤
⑥	⑦	⑧

4:「学ぶ方法っていろいろあっていいんだよ」 自分にあった学び方を見つけよう



学び方は人それぞれ違うもの。誰かは机の上、誰かは図書館、また誰かはリビングで集中する。ながめること、聞くこと、書くこと、読むことでよく理解できる。それぞれの方法を試して自分に合った学び方を見つけることが大切。分からないときは、友達や先生に教えてもらったり、インターネットや図書館で調べたり、多くの方法を利用できるようになる。

5:一人ひとりにあった、自分のペースで

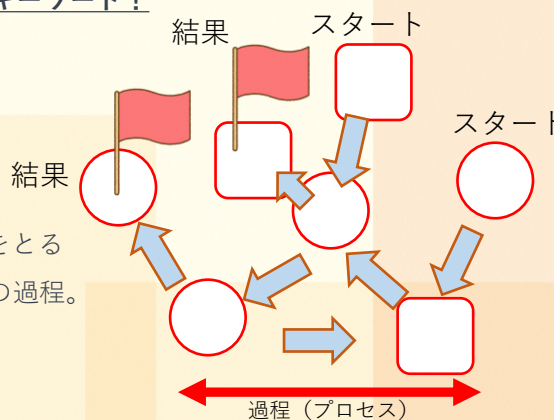
やりたいことや興味あることがなかなか見つからなくても大丈夫だよ。まわりの人と比べて自分だけ違う時って心配になったり、あせったりするよね。あせって見つけたり、周りに合わせると本当に自分のしたいことか、分からなくなることがある。**「周りは周り、自分は自分」がキーワード!**

自分のペース、自分のことを大切にしていね。

6:大切なのは結果じゃない 自分でやってみたプロセスが大切!

例えばテストで目標とする点数をとったとする。目標とする点数をとることがすごいんじゃない。大切なのは、目標とする点数をとるまでの過程。積み重ねたいろいろな学びや経験こそが大切になる。

目標の点数へ届かなくても大丈夫。じっくり学ぶことも大事です。



学びコンパスでつけてほしい非認知能力を伸ばすヒント 小学生版

夢・目標を持つ力

自分のことを見つめ直す
チャンス

できること・やりたいこと・好きなことを見つけることから始めてみよう

今やりたいことや、好きなことが見つからない人は自分と向き合うことから始めてみよう。身近な人に相談することでも自分らしさが見つかるかもしれないよ。

自分を調整する力

やらないことを決める

あれもこれも頑張ろうとすると、どれもうまくいかず時間が過ぎてしまう。「やらないこと」を決めて、**頑張ることをしぼることも大切なことだよ。**

しぼるって
意外と難しい

学びの手引き・学びのヒント集を活用しよう

何からやったらいいのかわからない→学びのヒント集で学ぶきっかけを見つけよう
「学びのヒント集は右の二次元コードからもご覧いただくことができます」



この冊子はみなさんの成長を応援するものです。小学校6年生から中学校3年生まで毎年1回以上学校で使います。